飯山満の風

飯山満中学校だより
２月号（R7,2,21 発行）
TEL 422 - 0088

節目を生かす

校長　野上　浩資

２月末を迎え、今年度も残すところあとわずかになりました。３年生の教室には「卒業まであと〇〇日」という掲示があり、残り少ない中学校生活を大切にしようという気持ちが伝わってきます。３年生に限らず１年生も２年生も、今年度の残りの時間を大切にしてほしいと思います。

間もなく迎える卒業式、そして、続いて行われる修了式を前に、その意味を考えてみたいと思います。卒業の「卒」には「終える」という意味があります。「業」には、「なすべきこと」という意味があります。つまり「卒業」には、なすべきことを成し遂げたという意味がこめられており、３年生に手渡す卒業証書には、「中学校の全課程を修了したことを証する」と書かれています。「社会に出ても自分の力でたくましく生きていける」という証明書になります。その証明書としての重みをよく理解したうえで、卒業までの日々を大切にして下さい。

３年生は、３年間の中学校生活で、貴重な体験を積み、さまざまなことを学んできました。卒業を前に自分が重ねてきた学びの一つひとつを振り返り、自分の成長を確かめてみましょう。また、４月から始まる新しい生活に向け、準備しなければならないこともたくさんあります。学習面・生活面・活動面・心の在り様などいろいろな角度から自分を振り返ることが必要です。

３月から４月にかけた一ヵ月間に、大きく成長する生徒をたくさん見てきました。一ヵ月で体が急に大きくなるわけではありません。急に学力が伸びるわけでもありません。では、何が成長の要因になったのでしょうか。それは、その人の心構えや気持ちの変化ではないかと思います。意識の持ち方一つで、行動が大きく変わります。卒業式・修了式を目前に控えた学年末という節目は、生徒が進学や進級に対する心構えをつくる大切な時期です。これまで、自分が積み重ねてきた学び、仲間と築き上げた絆など、かけがえのない経験に自信と誇りを持ち、４月から始まる新しい生活に向けた心構えを育ててもらいたいと思います。

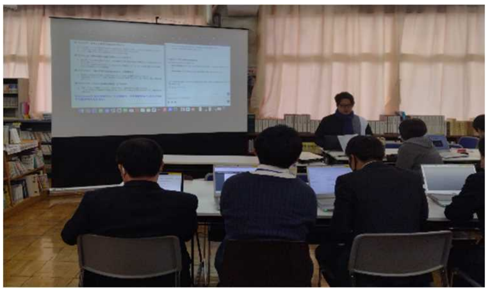
【校内全体研修】

１月２７日（月曜日）に今年度の授業研究の成果と課題についての校内全体研修を行いました。情報活用能力の向上や個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した研修及び授業研究を通しての成果と課題について共有しました。また、外部講師の文部科学省学校DX戦略アドバイザー（株）スクールエージェント代表取締役の田中善将先生をお招きして『生成AIの普段使いを目指した授業づくり研修』も行いました。

今年度は以下の取り組みを行いました。

・生成AIの活用範囲の拡大：より多くの教科や領域で生成AIを活用し、より深い学びができるよう授業改善を進めました。
・校内研修の充実：教職員のスキルアップを図るため、外部講師を招いて研修の充実を図りました。
・研究成果の共有：市内外の学校と連携し、研究成果を共有し、学び合い、教育の質の向上を図りました。
・保護者との連携強化：保護者の皆様への学校教育活動の情報提供を充実させ、理解と協力を得られるよう努めました。

今後も、生成AIを活用した授業改善を推進し、生徒の学びをさらに充実させ、「未来を創る力」を育んでいきたいと思います。



【市民の会・PTA・F組合同作業　花壇アート】

２月１４日（金曜日）に市民の会の皆様・PTA の皆様・F 組で３月１１日に行われる卒業式に向けて、中庭の花植えを行いました。卒業生の門出を祝うように、色鮮やかなパンジーが花壇いっぱいに植えられ、とても華やかになりました。３年生も卒業式まで残すところ僅かとなりました。これからはいっそう飯山満中学校での残りの日々を大切にしてください。